

発刊の辞

本学の創立三十五年を迎えるにあたって、これを記念してここに本学教授陣の執筆になる論文集を公けにし、ひろく學術の進展に寄与する運びになったことは、本学学長として私の慶びに堪えないところである。

三十五年の歳月は大学の永遠の生命に較べるとき、きわめて短い歴史の一こまにすぎない。しかし、この三十五年間のわが国の変遷とともに本学が辿ってきた發展の過程を回顧するとき、創立者としての私の感慨はまことに深いものであり、愛着措くことのできない一こまである。われわれの営營とした努力によって今日、大学の内容外観はともに整備充実し、将来への飛躍を期するときに当り、われわれの決意はいよいよ固い。

この機会に本書の刊行されることはまことに意味深いものがある。記念論集としては、さきに三十周年に際して『社会科学の方法と諸問題』を刊行し、いささか学界に貢献したのであるが、今回さらに本学の學的發展をすす研究業績を発表して、ひろく学界諸賢の批判を仰ぎ、あいたずさえ學術の深奥を究めることができれば望外である。

ここに執筆者各位の労を謝するとともに、いよいよ本学に課された學的使命の重大さを覚える次第である。

昭和三十八年十一月一日

神奈川大学学長 米田吉盛